



「第 8 回 日本 TRIZ シンポジウム 2012」の 発表者の皆さま

2012 年 6 月 11 日

NPO法人 日本TRIZ協会

第 8 回 日本TRIZシンポジウム 2012

プログラム委員長 中川 徹

第 8 回日本 TRIZ シンポジウムでの、企画ものの講演を受諾いただき、あるいは、一般発表として発表をお申し込みいただきまして、まことにありがとうございます。日本 TRIZ 協会では、皆さまからお送りいただきました「拡張概要」をもとに、その採択を決定し、プログラムを編成いたしました。プログラムの全体について、また、参加者の募集と参加申込みにつきましては、公表いたしました別資料をご参照下さい。本案内には、発表者の皆さまに限定して、今後の準備などのご案内をいたします。

なお、詳細は、つぎの資料を参照下さい。

- (a) プログラム編成について： 「プログラム一覧シート」、および「プログラム詳細表」
- (b) 今後の準備について： 「最終原稿提出要領」
- (c) 発表者の参加登録について： 「参加登録申込み書」(HP 掲載) で「発表者」と明記下さい。

1. 発表申込みの状況、採否の判断、限定的追加募集、プログラム編成について

5 月 25 日締切で申込みいただきました発表の件数は、以下のとおりです。

企画もの(招待による講演) 国内 6 件、海外 3 件

一般発表(著者申込みの発表) 国内 27 件(うち 3 件取り下げ)、海外 8 件

各発表についての採否の判断は、提出いただきました「拡張概要」(1 頁)を基礎にし、また必要に応じて著者と通信した後、プログラム編成会議と TRIZ 協会運営会議で決定しました。

今回、本シンポジウムのテーマ範囲外と判断したものはありません。

準備の状況や発表内容の質の面でも、特に問題となるものはありませんでした。

「発表予定内容に含めている顧客事例について発表承認が得られない」との理由で、

3 件が(申込み後に)著者取り下げとなりました。

一般発表の限定的追加募集を行う旨、6 月 4 日に発表しました。主として次の事情です。

- ・ 日本創造学会が本シンポジウムを後援して下さることが、5 月 30 日に決定されました。同学会の会員に本シンポジウムの案内を出していただくに当たり、同学会会員の発表申込みを受け付けることが適当と判断しました。
- ・ 海外からの一般発表は、タイ 5 件(5 人)、ヨルダン 2 件(1 人)、イスラエル 1 件(1 人)です。欧州、米国、韓国、その他の海外からの発表で、遅れているものを収容したいと考えます。

- ・ これら 2 点を含め、その他の発表申込みで優れたものを受け入れたいと考えております。

以上の状況を踏まえて、今回のプログラム編成をし、第一次案として公表しております。

- ・ 全体構成の骨子は、当初計画どおりです。
 - 第 1 日に(A) 日本語と(B)英語の並行セミナー、第 2、第 3 日を(C)コンファレンスとしました。
 - 第 1 日午後の最後から (A)(B)(C) 合同で弓野先生の特別講演とグループ討論を設定しました。
- ・ 発表時間は、従来長めでしたのを、やや短縮しました (オーラル発表 40 分 → 30 分 (討論含む))。
- ・ 追加募集分の余裕を、「調整中」という表現で、用意しております。
- ・ 参加者の関心を重視して、プログラム編成を行いました。
 - 発表者の皆さまのご希望に完全に沿えていない点があろうかと思いますが、ご了承下さい。

プログラム編成に関して、今後、つぎのようにお願いいたします。

- ・ シンポジウムに部分参加される場合には、そのご都合をお聞かせ下さい。
- ・ 現在のプログラム編成で、都合が悪い場合には、至急ご連絡下さい。
- ・ 今後、7 月初め、8 月初め、8 月末に、プログラムの編成を調整します。
 - 現在の編成からいろいろ変更になる可能性があることを、ご了承下さい。
- ・ 7 月末の段階で最終原稿が提出されない場合には、プログラムから削除し、予稿集に掲載しないことがあります。ご注意下さい。

2. 最終原稿の提出について (依頼)

別紙に、「発表募集要項」に追記する形で「最終原稿提出要項」を作成しました。

この記述に従い、最終原稿一式の提出をお願いいたします。

- ・ なお、特に注意いただきたい項目 (発表募集時に記述) を青字で表記し、
 - 今回、最終原稿提出要領として新しく記述しました項目を赤字で表記しております。

最終原稿の提出締切は、7 月 23 日(月) 18:00 です。

オーラル発表 (講演も含む) と ポスター発表では、必要項目が違いますのでご注意下さい。

発表スライドの提出が必須項目です。

論文形式のものは随意です。ただし、今年から、シンポジウム後に論文を受け付けて査読し、

査読済み論文として「日本 TRIZ 協会 会誌」(仮称) に発表する計画です。奮って応募下さい。

スライドの英訳を著者が協力下さいますようお願いいたします。

(ご希望によりプログラム委員会が英訳を支援いたします。)

問い合わせ、申込み先:

- 発表に関して: sympo@triz-japan.org (プログラム委員会)
- 参加・登録に関して: info@triz-japan.org (事務局/シンポジウム実行委員会)

以上